

福岡市立障がい児通園施設指定管理者選定・評価委員会 議事録

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木） 13：10～17：30

会 場：心身障がい福祉センター 7階 大研修室

出席委員：松崎委員長

波多野委員（めばえ学園）

今村委員（東部療育センター）

寺尾委員（西部療育センター）

須藤委員（あゆみ学園）

兒玉委員（心身障がい福祉センター）

森委員

藤林委員（あゆみ学園，心身障がい福祉センター）

※名前の後に（ ）書きで施設名のある委員は，その施設の評価のみ出席

事務局：こども発達支援 課長，係長，係員

傍 聴 人：なし

<最終評価>

別紙のとおり

<議事録>

<p>(13：10) 【事務連絡】</p>	<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当委員会について ・中間評価について ・資料確認 ・委員紹介 ・スケジュール説明 ・評価方法説明
<p>【会議公開】</p>	<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・率直な意見交換，中立な意思決定を行うため，指定管理者への評価に係るもののうち，委員による意見交換の部分については非公開，その他の部分は公開とする旨確認。
<p>(13：23) めばえ学園 【評価内容説明】</p>	<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容の説明

<p>(13:27) 【指定管理者入室】 【プレゼンテーション】 指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション
<p>(13:40) 【質疑応答】</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員長</p> <p>指定管理者</p> <p>委員長</p> <p>指定管理者</p> <p>委員長</p> <p>指定管理者</p> <p>松崎委員長</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児を受け入れているようだが、看護師がケアをしているのか。喀たん吸引であれば、介護福祉法の一部改正により、第3号研修を受けた職員も行えるようになっているが、職員は医療的ケアを行っているのか。 ・安全を第一に考え看護師を配置しているため、看護師が行っている。 ・保護者が行う場合もあるのか。 ・親子通園の間は保護者が行うこともあるが、単独通園になれば、保護者が付いている必要はなく、看護師がケアを行う。 ・福祉避難所の指定は受けているのか。備蓄はどうしているのか。 ・受けている。備蓄は今後検討予定。 ・福祉避難所制度全体の話として、今後マニュアルの整備等必要になると思うが、如何か。 ・市と協議しながら策定したい。 ・日中一時支援の対象は、めばえ学園通園児だけか。 ・めばえ学園通園児以外の児童も利用できる。 ・日中一時支援で預かっている児童のプログラムは、通園児と別なのか。 ・日中一時は療育ではなく預かりだが、児童の状態によって、可能な児童は通園クラスに参加する場合もある。 ・通園児とそれ以外の利用者の割合はどのくらいか。 ・ほとんどが通園児で、1割くらいが通園児以外。 ・めばえ学園として、日中一時支援の周知はしているのか。 ・療育センターに外来で来られた方等で、支援が必要と思われる方には案内している。ホームページでも案内している。 ・希望者は増えているのか。 ・増えている。定員を増やしてほしい、もっと長く預かってほしい等の要望もいただくが、療育、通園事業をメインに

<p>委員</p> <p>委員長 指定管理者</p> <p>委員 指定管理者</p> <p>委員長</p>	<p>考えているため、できる範囲で対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援については、入園の際、オリエンテーションで説明されている。 ・ホームページの更新についてはどうなのか。 ・努力はしているが、更新が遅くなったり、十分ではないと思っている。 ・近年、ICTが注目されているが、音声教材やアイパッド等は活用しているか。 ・必要な児童には、音発出装置やあいうえお表等を活用している。かなり進歩してきている分野なので、研究を始めてもいいと思っている。 ・ホームページの更新やシステムの高さについては、施設のみではなく、運営法人全体で考える必要がある。 ・他に質問がないようであれば、委員による意見交換に移るため、指定管理者は退出すること。
<p>(13:53)</p> <p>【指定管理者退出】</p> <p>【委員意見交換】</p>	<p><非公表></p>
<p>(14:07)</p> <p>【意見まとめ】</p> <p>委員長</p> <p>委員一同</p> <p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの意見交換を踏まえ、市による評価に修正等なしということで良いか。 ・異議なし。 ・修正ないことを当委員会の総意とし、めばえ学園の評価を終了する。
<p>【保護者代表委員入替】</p>	
<p>(14:10)</p> <p>東部療育センター</p> <p>【評価内容説明】</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容の説明
<p>(14:15)</p> <p>【指定管理者入室】</p> <p>【プレゼンテーション】</p>	

<p>指定管理者</p> <p>(14:30)</p> <p>【質疑応答】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に係る事故があり、再発防止に取り組んでいるとのことだが、具体的には。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から預かった書類についての受払記録、複数職員での取り扱い、発送時のダブルチェック等の徹底を行っている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誤配布もあったのか。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・診察券を誤って他の方にお返ししてしまった。現在は、複数職員で確認し、お返しすることを徹底している。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よくあることとして、FAXの誤送信があるため、併せて気を付けてもらいたい。 ・複数で確認することは有効である。事故があった後の対応が重要であるが、研修もしっかりされているようだ。 ・相談支援にも力を入れているようだ。東福岡特別支援学校との連携もしっかりされているようで、感謝する。 ・受付から診察までの待ち期間を2か月以内にするよう努力しているとのことだが、2か月以内とした理由は。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他県では半年というところもある。東部療育センターとしては、これまで3か月ということもあったが、各病院を周り、嘱託医の協力を得て、最大限努力した結果、2か月という期間になっている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は増えているのか。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・増えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数が増えれば、待ち期間が増えるのは当たり前ではあるが、待ち期間が長くなり過ぎないようにするために、数をこなそうとするあまり、1人1人の内容が薄くなるようなことがないようにしなければならない。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・診断書の作成のための診察は、比較的短時間で済むため、診察の目的によって時間にメリハリを付けている。 ・相談内容によって、東部療育センター全体で対応し、ドクターの限られた時間を有効に活用できるようにしている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチというワードがよく出てくるが、具体的には。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターの診察をはじめ、心理相談員、訪問支援員、ケースワーカー等により、家族を含め、必要な支援を行えるような様々なセクションで情報を共有しサポートしている。

委員長 指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数の実績が目標より多いようだが、要因は。 ・発達障がい相談が増えている。幼稚園や保育所、開業医からの紹介が多い。 ・訪問支援等で園を訪問すると、「他にも気になっている児がいる」と相談されることが多い。 ・知的に軽度であったり、ボーダーの児であることが多い。 ・障がいの認知や保護者の受容が進んでいることも要因と考える。
委員長 指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育所との連携は有効であると考え。 ・ペアレントトレーニングを実施しているとのことだが、具体的には。 ・発達障害者支援センターのPステップという事業を活用し、1グループ10～12名、1クール6回のトレーニングを行っている。28年度は2クール実施した。 ・発達障害者支援センターの事業としてではなく、東部療育センターが主体となって実施できるよう、検討を進めている。
委員長 指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・東部療育センターのみで実施できるようにしているのか。 ・そうすることで、通園部門等でもスキルを活用できるようにしたい。
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設として、支援の質の向上を図っているようだ。 ・特別支援学校は、福祉避難所の指定を受ける。きざみ食等、東部療育センターが研究した給食の情報を、教育委員会に提供してほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質問がないようであれば、委員による意見交換に移るため、指定管理者は退出すること。
(14:40) 【指定管理者退出】 【委員意見交換】	<非公表>
(14:56) 【意見まとめ】	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの意見交換を踏まえ、市による評価に修正等なしということで良いか。
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・修正ないことを当委員会の総意とし、東部療育センターの評価を終了する。

<p>【保護者代表委員入替】</p>	
<p>(15:05) 西部療育センター 【評価内容説明】 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容の説明
<p>(15:08) 【指定管理者入室】 【プレゼンテーション】 指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション
<p>(15:20) 【質疑応答】</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西フレンドホームと連携し、成果をあげていることがよくわかった。 ・診察実績が目標を大きく上回っている。受付から診察までの待ち期間は現状維持できているとのことだが、どのくらいの期間か。 ・2か月程。1ヶ月～1ヶ月半を目指したい。 ・大変だと思うが、こういった努力をしているのか。 ・ドクターの限られた時間を有効に活用できるよう、当日のキャンセルを減らすため、体調の整い難しい午前中は診察を入れないようにしている。また、嘱託医4名に来てもらっている。 ・今後も診察希望は増えていくと思うが。 ・待ち期間が短くなるよう引き続き努力する。 ・他の診療機関を紹介しないのか。 ・療育センターでは、障がい児に関する相談、診断、支援の提供をワンストップで行っており、保護者の負担軽減のためにも、受け入れていきたい。 ・研修をしっかりとされているようだ。具体的にどのような研修をしているのか。 ・専門的なものとしては、ドクターであるセンター長による研修。継続して行っているものとしては、環境設定の研修がある。児童にとってわかり易い教室、スケジュール、意欲が持てる教材等。

委員	<ul style="list-style-type: none"> • 近年、ICT教材の研究が進んでいるが、音声教材やiPad等、何か取り入れているか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> • STがそういった機材を活用した支援を行っている。 • 就学前は、おもちゃ等を使って働きかけ、反応を積み重ねることが大切。ICT教材は、そういった支援を十分行って力を付けた後に活用できるもの。 • ICT教材は、知的指数の高い肢体不自由児への支援に向いていると思う。 • ケースカンファにより、有効な活用の仕方があれば取り入れていく。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • 27年度の保護者アンケートにおいて、35%が「わからない」と回答したものがあろうのだが、プレゼンで言っていた工夫を行った結果、アンケートの数値はどうなったのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> • 「わからない」と回答された方は減ったと認識しているが、詳細な数値はわからない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • せっかくアンケートの結果を受けて取り組んだのなら、その数値をちゃんと追った方が良い。 • 内定保留児対策として、分園を運営しているのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> • 早良区南庄のビルの1階で、28年度4月から運営している。幼稚園や保育所に通っている児童の並行通園を中心に、内定保留児への支援にも活用している。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • 並行通園は、分園の役割としているのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> • 西部療育センターでは、毎日通園や親子通園、外来療育を行っており、並行通園までは対応できない。西部療育センターと連携し、分園で行っている。 • 先ほど意見のあった保護者アンケートの数値だが、28年度は24%に減っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • 工夫の効果があったということ。エビデンスがあったことは言った方が良い。 • 他に質問がないようであれば、委員による意見交換に移るため、指定管理者は退出すること。
(15:34) 【指定管理者退出】 【委員意見交換】	<非公表>
(15:45) 【意見まとめ】	

<p>委員長</p> <p>委員一同</p> <p>委員長</p> <p>【保護者代表委員入替】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部療育センターについては、「広報の取り組み」、「経営面の創意工夫」が減点されており、その他は減点なしという市による評価だが、これまでの意見交換を踏まえ、市による評価に修正等なしということで良いか。 ・異議なし。 ・修正ないことを当委員会の総意とし、西部療育センターの評価を終了する。
<p>(15:50)</p> <p>あゆみ学園</p> <p>【評価内容説明】</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容の説明
<p>(15:53)</p> <p>【指定管理者入室】</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション
<p>(16:03)</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・25年4月から知的単独通園クラスを設置したとのことだが、おそらく、医療的ケアが必要な知的障がい児と思う。そういった児童は増えている傾向なのか。 ・25年度より、知的単独通園クラスの人数は5名、8名、8名、5名、5名と推移しており、年度によって変化がある。重心児は増えていると感じるが、医療的ケアが必要な知的障がい児は変わらない印象。 ・特別支援学校も看護師を配置した。医療的ケアが必要な知的障がい児は増えていると感じる。喀たん吸引など、研修を受ければ職員が行えるが、あゆみ学園ではどのようにケアをしているのか。 ・看護師を配置しているため、職員では行わない。 ・福祉避難所としてのマニュアルや保護者への周知はどうなっているのか。 ・在園時の避難訓練は毎月行っており、近くにある屋形原特別支援学校に避難するようにしている。

委員	・災害時の対応については、支援学校と連携し取り組んでほしい。
委員	・保護者アンケートに、家庭訪問の必要性がわからないとあるが。
指定管理者	・通園としての家庭訪問と、相談支援として必要な家庭訪問がある。家庭での困りごとを含めてサポートしたい。説明が不十分であった。
委員	・トータルで支援計画を立てるには、家庭状況を把握することが必要と思うが、家に訪問されると困るとかそういうことがあるのか。
指定管理者	・掃除しなきゃいけない、家に外部の人が入ることが極端に嫌い等、保護者によるところがある。
委員長	・日中一時支援は、あゆみ学園通園児のみを対象としているのか。
指定管理者	・主にあゆみ学園通園児が利用しているが、以前は通園児以外の利用者もいた。医療的ケアの内容が濃厚である等、在宅の児童は中々受け入れられていない。
委員長	・あゆみ学園程体制が整っていても受け入れられないのか。
指定管理者	・通園事業をメインに考えており、日中一時支援については余力で実施しているため、医療的ケアの内容が濃厚である児童に対し、十分に手を掛けられる程の体制はない。そういった児は、他の、医療的ケア児を対象とした専門事業所を利用されている。
委員	・民間の事業所も増えてきている。
委員長	・子育てサロンにあゆみ学園が関わることで感じられることは。メリットや手応えもあわせて。
指定管理者	・アミカスで実施しているため、あゆみ学園で実施するより立地的に参加し易い。通常のサロンと比べ、STが参加することにより、コミュニケーションや関わり方を含めて相談を受けることができる。参加される方は、病院から紹介されて来ている方なので、バックデータがあり、適切な支援ができる。
委員長	・他に質問がないようであれば、委員による意見交換に移るため、指定管理者は退出すること。
(16:17) 【指定管理者退出】 【委員意見交換】	<非公表>

<p>(16:32) 【意見まとめ】</p> <p>委員長</p> <p>委員一同</p> <p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの意見交換を踏まえ、市による評価について、1(4)「事業計画に利用者の意見やニーズが反映されているか」の評点を2点から1点に減点すること、その他については修正等なしということで良いか。 • 異議なし。 • これを当委員会の総意とし、あゆみ学園の評価を終了する。
<p>(16:35) 心身障がい福祉センター 【評価内容説明】</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 評価内容の説明
<p>(16:41) 【指定管理者入室】 【プレゼンテーション】</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プレゼンテーション
<p>(16:56) 【質疑応答】</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p> <p>委員</p> <p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 診断、相談、支援に係る自己評価に基づく取組みについて、受付から診察までの待ち期間の短縮で、新たな診察枠の確保以外で何か工夫はあるか。 • 保護者の不安軽減のため、発達相談員や相談支援員、ケースワーカーにより、診察までの期間の相談支援を充実させている。 • 個人情報に係る事故があったとのことだが、原因として挙げられている職員の知識不足とは。 • 個人情報の取り扱いに対する認識が薄かったと思っている。 • 家庭訪問で回っている際、訪問先の名前や住所を記載したメモを落としてしまったもの。当日に見つかっている。 • 再発防止策としては、原則持ち出さないこと。持ち出さなくてはならない時は、個人が特定できないような記載にし、専用カバンに入れるようにした。元々あった持ち出し申請簿も改定し、より具体的な記載内容としており、その理由によって、所属長が持ち出しを許可する許可しないを

	<p>判断している。最低、月に1回は朝礼にて注意喚起を行っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 再発防止をしっかりとすることが重要。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい児者への一貫した支援とは。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者支援センターの実践トレーニングセミナーを受講し、また、セミナーの運営側も経験することで、職員のスキルアップを図り、支援の充実に繋げている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 人材交流を行っているということか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> お互いに連携や協働開催をし、スキルアップを図っている。 実践トレーニングセミナーは、徹底した構造化を行ったり、当事者に来ていただいたり、かなりハードな取り組みをしている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> Pステップはどのくらいの頻度実施しているのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 前期と後期で2グループ実施しており、各5回、20人程度で行っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ニーズは高いのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でのホームワークもあり、参加者にとってもそれなりの手間が掛かるが、ニーズは高い。「子どもへの接し方の参考になる」、「日頃は中々時間がとれないが、参加することで、落ち着いて分析し、考えることができる」等、好評いただいている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 防災への取り組みについて、他の施設より詳しく書かれているように感じる。 場所柄、警固断層が通っているため、地震が起こった場合は被害が大きくなるのが予想される。災害時のマニュアルはあるのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 通園部門では、毎月、火災想定と地震想定避難訓練を行っている。センター全体でも年2回、1回は職員の動きの確認、1回は利用者も含めた防災訓練を行っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 提案だが、心身障がい福祉センターは研修を開催することが多い、研修開始時の事務連絡で、発災時の行動について案内してはどうか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 検討する。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 心身障がい福祉センターは多様な支援を実施しているため、保護者アンケートも沢山あり、自由記載欄も沢山書かれている。色々なニーズがあるようだ。 アンケートを取った後のフィードバックはどうしているのか。
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 通園部門では、園長懇談を開催し、いただいた意見と回答

<p>委員長</p>	<p>について伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートを毎年行っていると、ニーズに答えることができたものや毎年意見が出るがニーズに答えることができないもの等あると思うが、手応えや気になっていることはあるか。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月1～2回の外来療育を行っている児童の保護者からは、毎年、「回数を増やしてほしい」という意見をいただくが、限られた教室を効率的に活用しており、回数を増やすことは難しい。一方で、多様化するニーズには、クラスの種類を増やすことで対応している。 明確な記載のあることだけではなく、「わからない」という回答にも注視し、取組みを行いたい。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「わからない」という回答について、外来部門と通園部門で差はあるのか。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 差がある。通園の方が支援頻度が高く、より説明を行えるため、「わからない」と回答される割合が低い。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者は、「お世話になっている」という気持ちから、意見等は書き難いという人もいる。無記名式のアンケートだが、字や内容で誰が書いたものかわかりそうだ。実際どうなのか。
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> わかってしまうこともある。その場合も、園長懇談において全体に回答するようにし、記載内容について個別に話を聞いたりはしないようにしている。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他に質問がないようであれば、委員による意見交換に移るため、指定管理者は退出すること。
<p>(17:15) 【指定管理者退出】 【委員意見交換】</p>	<p><非公表></p>
<p>(17:29) 【意見まとめ】</p>	
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの意見交換を踏まえ、市による評価に修正等なしということで良いか。
<p>委員一同</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異議なし。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 修正ないことを当委員会の総意とし、心身障がい福祉センターの評価を終了する。

<p>(17:30) 【閉会】</p>	
-------------------------	--